

富盛エイサー

旧暦7月14日には、各支部回り、15日には、富盛公民館前広場で行う富盛エイサーは、今回で23回目を迎えました。糸満市大里青年会から受け継いだ伝統高いエイサーに富盛青年会独自の動き、隊列を加え現在の型が形成されました。独特の腰の落としとパーランクーの手返しが特徴です。エイサーで笑いをとる道化といわれるチヨンダラーも滑稽な演舞や指笛で会場の場を大いに盛り上げていました。



エイサー

盛夏の風物詩として欠かせない、沖縄の伝統芸能の一つエイサー。豪快に鳴り響く太鼓の音に心躍らせ、威勢のいい掛け声と共に舞います。今回、町内各青年会を中心になって行われたエイサーの特徴を取材しました。

どひちやんエイサー

沖縄市諸見里青年会から伝承を受けたくしちゃんエイサーは、8月7日から9日までの日程を組み具志頭公民館広場で行われました。男性は、テンポの速い太鼓やバチさばき、メリハリのある動きが特徴で女性はいなやかな手踊りが魅力です。8月18日から20日に行われた沖縄全島エイサー祭にも招待され、今後の活躍が期待されます。



新城エイサー

旧盆の週の金曜日・土曜日に新城公民館前広場で行われる新城エイサーは、大里村大城青年会から伝承を受けパーランクウの返しやバチさばき、足の上げ方などパーランクウ独特の力強い動きが特徴です。8月4日、5日に行われたエイサーではチヨンドラーの演舞からはじまり旗頭、大太鼓、パーランクウ、黄色い芭蕉布を身にまとった踊り手と続き、曲に合わせて、1列、2列、4列と体型を変化させ、ダイナミックな動きを見せてくれました。



青年会の堅い絆と 伝統を愛する心が伝わる



安里エイサー

毎年旧暦7月13・14日に行われている安里エイサーは今年で27回目を迎えました。今回は8月6日、7日に行われ、会場の安里公民館には、約200名のお客さんが詰めかけていました。安里米須青年エイサーからは、テン承された安里エイサーは、全体ポの早い太鼓の返しなど、具志的に力強いのが特徴です。「汗水節」の曲に頭を代表する「汗水節」の曲に合わせ勇壮な太鼓の音と迫力のある掛け声が響きました。

「ハイヤ、ハイヤ」 町内各地域で 綱引き

8月6日から12日にかけて各地域で綱引きが行われました。旧暦7月14日には小城、15日には当銘、志多伯、16日には、世名城、東風平と、地域によって綱を引く日が異なります。台風の影響で東風平の綱引きは8月12日に延期されましたが、どの字の綱引きも例年以上の盛り上がりを見せていました。

小城綱引き



東風平綱引き



世名城綱引き



当銘綱引き



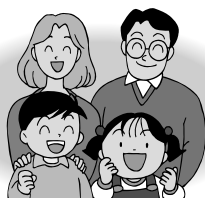
フランスから訪問 マルセイユ

7月16日、フランスマルセイユから沖縄小林流志道館フランス道場に通う生徒、館長その関係者含む17名が国際交流を目的に八重瀬町役場を訪れました。館長のケボルクディックさんは、「沖縄には素晴らしい自然や文化があり、この交流を通して生徒たちにはいろいろなことを吸収させたい」と話してくれました。また、案内役として志道館中村道場の館長中村清祐さんと志道館塾長津森薫さんも訪問していました。



夏休み親子ものづくり体験教室

8月1日、南部工業高校で夏休み親子ものづくり教室が開催され、53組約106名の親子が参加しました。平成16、17年度は県指定の生き生き活性化事業としてもものづくり教室を終えていましたが、地域や近隣の小学校から良い反響の声を聞き、今回は学校独自の事業として開催しています。また、南部工業高校の生徒たちが日頃の学習で培った知識、技術・技能を生かして地域の小学生を対象にもものづくりの楽しさや大切さを理解させることも開催の目的です。今回実施するのは、木工工作、万華鏡制作、ソーラーカー制作など5つのテーマに分けられています。ソーラーカー制作を教えている長田博仁君は、「自分たちの技能が役に立てることはうれしい。こどもたちにもものづくりの魅力を体験してもらってほしい」と話しました。



第1回 八重瀬町少年の主張大会

第1回八重瀬町少年の主張大会が、7月31日東風平改善センターにおいて開催され、東風平中学校生徒7名と具志頭中学校生徒6名が参加しました。人格を形成する上で重要な時期にある中学生が日頃考えていることを広く社会に訴えることにより、同世代の少年少女が社会の一員としての自覚を持てるようにすることと、健全育成に対する一般の理解を求めることを大会の目的としています。今大会の優勝には、「人と人を繋ぐ言葉」を演題に主張した東風平中学2年生金城香穂さんが選ばれました。第1回大会の優勝おめでとうございます。



具志頭小学2年生 生春巻きに挑戦

7月19日、具志頭小学校で学年PTA行事の「親子クッキング」が開催され、2年生生徒約55名とその保護者約40名が参加しました。同校では、親子一緒に楽しく充実した時間を過ごしながら学年の親睦も深められるように毎年定期的に集会を開いています。今回親子が挑戦した料理は、生春巻きです。学校で生徒が育て収穫したピーマンがおいしく食べられるようにメニューを組みました。生徒らは、馴れない料理にもかかわらず慎重にピーマンやにんじんゴロなどを千切りしていきます。集会に参加した上原さんは、「自宅では、ピーマンなどあまり食べないが、自分で作るものは、積極的に食べてくれる。この機会に好き嫌いをなくしてほしい」と話しました。

